
輝く汗

小説家

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

輝く汗

【Nコード】

N8422A

【作者名】

小説家

【あらすじ】

父が監督をしている少年野球チームに入った主人公樋口真央普段の練習では一生懸命練習する。しかし父は試合に出す気はなかった。試合があった日の夜は父と喧嘩。しかし、ある日突然他界してしまう。コーチが監督代行に。そんなある日の練習中コーチに「キャプテンをやってみないか？」と誘われる

輝く汗第二話

5:00時過ぎ2人は風呂場で待ち合わせした。

2人だけで男子風呂に入った。しばらくして人影が見えた。2人の胸はバクバクしていた。「何してんの？」風呂場に男子が入ってきた。

「風呂」純一が答えた。

扉が閉まった。風呂から上がり夕食が終わり監督に2人は呼ばれた。

「樋口、藤原こっち来い」

「何ですか？」真央が聞いた。

「お前ら2人だけで風呂入ったな？入室式の時に言っただ。樋口は女子風呂に一人で入るように。約束を破ったんだから明日はそれなりにきつい練習をうけてもらうぞ」監督は怒り口調で言った。夜班長会議で真央が部屋からいなくなった時だった。

「藤原、樋口と風呂入ったんだろ？」男子たちに問いつめられ押し入れに閉じこめられたりした

こうして朝が明けた。朝食を終えユニフォームに着替えバスに乗り込んだ。

グラウンドにつき練習が始まった。

しばらくして純一と真央が呼ばれた。

「今から昨日の罰だ。そこに立て」

「いくぞ。まずは樋口」「カキン」いきなり強烈な打球。真央に捕れるはずもなかった。「2人で合計250本捕れるまで」「次藤原」

「カキン」純一はボールに飛びついた「バシッ」

交互に強烈な打球が打たれていく。しだいにやり方の分かった真央はボールに飛びついて行った。しかし純一はしだいに動きが鈍くなっていた。「きちんと捕らんか。」全身真っ黒のユニフォーム。真央はグラウンドに倒れ込みながらなんとかボールを捕っていた。しか

し元々泣き虫の純一は泣きながらボールを捕ろうとはしなかった。
「純一ちゃんとやってよ」真央は横に倒れ込みながらとったボールを純一の背中に投げつけた。始まって2時間やっとな罰ゲームは終わった。

足に力が入らず真央は立てなかった。純一は立ち上がり真央を引っ張った。

「そんなに元気あるやつたら真面目にしてよ」真央は純一を叩いた。2人はこの練習後一言も話さなかった。午後真央は一人筋トレとトスバツティング、走り込みをしていた。練習が終わり宿舎に戻った。部屋でも2人は一言も話さなかった。話したとしても今までみたいに「純ちゃん」や「純一君」ではなく「藤原」と呼び捨てで呼んでいた。

合宿最終日の紅白戦純一も真央もヒット0だった。

練習が終わり練習グラウンドから宿舎までのマラソン。樋口はあまりのしんどさに泣きながら走っていた。

「樋口さん大丈夫？」いつも外野を守っている男子に声をかけられた。

「しんどい」真央は答えた。男子は真央と一緒に宿舎まで走った。純一と上手いかわからない真央は彼のことが気になっていた。

夜班長会議も終わり部屋に戻ろうとする真央を男子が引き留めた。

「純一の事どう思ってるの？」男子からのストレートな質問

「好きだけど」真央は答えた。

「仲直りしたら？仲直りしたいって純一が言ってたよ」男子が言った。

男子は喧嘩した日の入浴タイムの時に純一と話をしていた。

こうして帰りのバス純一はその男子と隣同士になった。

「樋口純一の隣座るか？」

窓の外をじつと見つめている真央を誘った。

樋口は立ち上がり純一の隣に座った。

バスが出発車内では合宿中の思い出を一人一人マイクでしゃべって

いた。
純一の番がやってきた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8422a/>

輝く汗

2011年1月25日03時51分発行